



国立大学リスクマネジメント情報

2013(平成25)年1月号

<http://www.janu-s.co.jp/>

「国立大学リスクマネジメント情報」 合冊製本発行のご案内

日頃より本誌のご愛読、ありがとうございます。

このたび、メールマガジン発行4周年を記念して、
今まで発行した各号の特集を再編集し、下記のとおり
特別号（書物）として発行いたしました。

購入お申込みは
弊社ホームページから
<http://www.janu-s.co.jp/>
(1部 1,000円送料別)



※合冊製本版発行準備のため、情報誌11月号、12月号の発行はお休みいたしました。

「国立大学リスクマネジメント情報」合冊製本版

＝ 目 次 ＝

I 自然災害

1. 「震災から学ぶリスクマネジメント」（シンポジウム報告）〈23年7・8月号〉
リスクマネジメントの現場「応急危険度判定勉強会・実地訓練」（名古屋大学）
2. 震災被害、支援活動と保険適用〈23年3・4・5月号〉
リスクマネジメント最新情報「震災、節電への労務対応」
3. 帰宅困難学生等への対応〈24年9月号〉
リスクマネジメントの現場「生活協同組合との災害時相互協力協定」（新潟大学）
リスクマネジメントの現場「緊急時飲料提供ベンダーの導入」（山口大学）
リスクマネジメントの現場「学生が帰宅困難者対応訓練を実施」（専修大学）
4. 学生・教職員の安否確認〈23年10月号〉
5. 大規模地震等に備える消防計画〈21年4月号〉
6. 台風、集中豪雨とリスクマネジメント〈20年10月号〉
リスクマネジメントの現場「雨水調整槽整備による近隣の増水被害防止」（東京大学）
7. 竜巻被害と保険適用〈24年5月号〉
8. 雷被害とリスクマネジメント〈20年11月号〉
リスクマネジメントの現場「避雷器等設置による雷害防止の取組み事例」
リスクマネジメント最新情報「ゲリラ豪雨観測画像ホームページ」



II 防火・施設管理

1. 火災リスクとその対策<21年1月号>
リスクマネジメントの現場「自衛消防隊の活動に消防署長賞」(お茶の水女子大学)
2. 施設・設備の維持管理<22年2月号>
リスクマネジメントの現場「名古屋大学における施設マネジメント」(名古屋大学)
3. 水濡れ事故と保険適用<24年6月号>
4. エレベーターの事故への対応<23年9月号>
リスクマネジメント最新情報「既設エレベーターの安全確保に向けて」

III 教育・研究活動

1. 実験・実習における事故<22年5月号>
2. 正課としての野外活動の安全<22年6月号>
3. スポーツ活動中の事故<22年7月号>
リスクマネジメントの現場「スポーツ事故の発生状況」(大阪大学)
4. 熱中症、食中毒と保険適用<24年7月号>
5. 臨床研究指針の改定と補償責任<21年2月号>
6. インターンシップ中のリスク対応<21年7月号>
7. 講習会等での事故と保険<21年5月号>
8. 入試ミス・事務ミス<21年3月号>
9. 大学発の名産品に関するリスク<21年8月号>
リスクマネジメントの現場「大学関連会社を利用した農産物の販売」(神戸大学)

IV 学生生活関連

1. 通学途中の事故<24年3月号>
リスクマネジメントの現場「福知山線事故への沿線大学の対応」
リスクマネジメントの現場「平時のリスクマネジメントが有事の対応力を強くする」
2. 学生の起こした事件(不祥事)<24年2月号>
リスクマネジメントの現場「コンパ開催届出の義務化」(佐賀大学)
トピックス「大学生の大麻乱用」
リスクマネジメントの現場「大麻再発防止に向けた取組み」(京都大学)
3. 学生の犯罪等の被害<24年8月号>
リスクマネジメントの現場「警備用車両によるキャンパス巡回(東京大学)」
リスクマネジメントの現場「青色防犯灯の導入(筑波大学)」
リスクマネジメントの現場「学生マンションのナジックが警察と防犯に関する覚書を締結」
トピックス「新入生とカルトの危険」

V 国際交流

1. 海外活動中のリスクと保険<22年8月号>
2. 留学生の住居と健康等の問題<21年6月号>



VI 感染症

1. 新型インフルエンザ対策<21年9月号>
リスクマネジメント最新情報「新たな国の新型インフルエンザ対策」
2. キャンパスにおける感染症対策<20年12月号>
リスクマネジメントの現場「麻しん（はしか）の封じ込め作戦」（神戸大学）
リスクマネジメントの現場「学部新生の抗体検査を実施」（金沢大学）

VII 労災、環境安全、メンタルヘルス

1. 大学と労災補償<22年3月号>
リスクマネジメント最新情報「ホルムアルデヒド規制強化」
リスクマネジメント最新情報「作業環境測定基準等の改正」
リスクマネジメント最新情報「労災対象疾病リストが改正」
リスクマネジメントの現場「全学自由研究ゼミナール「環境・安全と安心の科学」（東京大学）
2. ボランティア活動中の事故<22年9月号>
3. 大学とメンタルヘルス<22年4月号>
リスクマネジメントの現場「ハラスメントホットラインの設置」（群馬大学）
リスクマネジメントの現場「病院看護部のストレスマネジメントプログラム」（名古屋大学）
リスクマネジメントの現場「定期健康診断へのメンタル診断取り入れ」
4. パワーハラスメント<23年6月号>

VIII 附属施設、情報管理

1. 附属学校、学内保育所での事故<22年11月号>
リスクマネジメントの現場「インターナショナル・セーフスクールの認証取得」（大阪教育大学）
2. 保健管理センター等での医療行為<23年11月号>
3. 情報セキュリティ、個人情報関連事故<23年2月号>

IX リスクマネジメント、損害保険、参考情報

1. 国立大学リスクマネジメントの現状と課題（シンポジウム報告）<21年12月号>
2. 大学のリスクマネジメント<21年10月号>
3. 大学の危機管理事例紹介—緊急連絡、安否確認、想定訓練、事業継続—
<22年10月号>
4. 損害賠償の法的基礎<23年12月号>
5. 国大協保険の保険金支払概況<24年1月号>
6. 国大協保険における賠償事例<22年12月号>
7. 被害者対応、メディア対応<24年10月号>



国大協保険 FAQ <24年4月号>

1. 国大協保険全般

- (1) 国大協保険は一般の保険とどこが違う、加入するメリットは何か？
- (2) どのような補償があるのか？

2. 学生等が加入する他の保険

- (1) 学研災等はどのような保険か？
- (2) スポーツ安全保険はどのような保険か？

3. 実際の事故等での保険適用

- (1) 台風の暴風雨で被害を受けたり他者に損害を与えたとき？
- (2) 地震、噴火、津波で大学施設が被害を受けたとき？
- (3) 実験、実習中に学生がケガをしたとき？
- (4) 野外での調査、実習中に学生がケガをしたとき？
- (5) 課外活動中に学生がケガをしたり損害を与えたとき？
- (6) 講習会やオープンカレッジの来訪者がケガをしたとき？
- (7) インターンシップで学生がケガをしたり損害を与えたとき？
- (8) 学生が海外研修や留学中にケガをしたり病気になったとき？
- (9) 受け入れた留学生在がケガをしたり病気になったとき？

ニュース・ピックアップ

(平成20年10月～24年10月の主な大学リスクマネジメント関連報道)

- | | | | |
|----------------|------------|----------------|--------------|
| 1. 大学の管理・運営 | | 16. ハラスメント | ①体罰 |
| 2. 労働関係 | ①処分、懲戒 | 16. ハラスメント | ②学生等へのハラスメント |
| 2. 労働関係 | ②労災、賠償 | 16. ハラスメント | ③教職員へのハラスメント |
| 2. 労働関係 | ③労働条件等 | 17. 不正経理 | |
| 3. 安全・衛生 | ①放射性物質 | 18. 研究倫理 | |
| 3. 安全・衛生 | ②その他の薬品等 | 19. 研究をめぐるトラブル | |
| 4. 火災・爆発 | | 20. 教職員の不祥事 | ①大麻、覚せい剤 |
| 5. 正課中の火災以外の事故 | | 20. 教職員の不祥事 | ②わいせつ |
| 6. 課外活動中の事故 | | 20. 教職員の不祥事 | ③収賄 |
| 7. 学生の飲酒事故、飲酒 | | 20. 教職員の不祥事 | ④その他 |
| 8. 医療事故 | | 21. 学生の犯罪被害 | |
| 9. その他の事故 | | 22. 学生の不祥事 | ①大麻、覚せい剤 |
| 10. 大学での盗難 | | 22. 学生の不祥事 | ②わいせつ |
| 11. 食中毒、感染症 | | 22. 学生の不祥事 | ③その他 |
| 12. 大学への爆破予告等 | | | |
| 13. 入試等試験ミス | ①追加合格 | | |
| 13. 入試等試験ミス | ②追加合格以外 | | |
| 14. 事務手続きミス | | | |
| 15. 情報セキュリティ | ①個人情報漏えい | | |
| 15. 情報セキュリティ | ②個人情報漏えい以外 | | |



掲載記事の紹介

<事件・事故に対する事故事例、判例等の紹介>

3. 傷害事故

(1) 事故事例

実験・実習に関連して、学生がケガをして賠償責任保険による保険金が支払われた事故、教職員がケガをして労災の上乗せ補償保険（死亡・後遺障害）が支払われた事故は以下のとおりです。（野外での実験、実習を除く。）

日付	事故内容	形態	保険金支払額(千円)
H16. 6. 18	有機合成実験中、生徒が薬品に触れ皮膚炎症発症。	賠償	300
H16. 10. 21	授業中に使用していたレーザー装置のレーザー光が学生の目に入り受傷。	賠償	18, 669
2017. 6. 14	コンクリート製作過程でパン型コンクリートミキサーを使用中、学生の左	賠償	704

<発生時の対応>

特集テーマ

被害者対応、メディア対応

事故や事件が発生した場合、その対応しだいで思わぬ結果を招きます。本号では、その際に大学の対応として考えておくべき点について取り上げます。

<再発防止策>

(1) 外部避雷対策（直撃雷対策）

建物に落雷すると、その鉄骨や鉄筋部分に雷電流が流れます。通常の避雷針の場合、鉄骨・鉄筋など建物の構造体そのものを実質的な引下導線としていますが、鉄骨・鉄筋に流れる電流が均等に分流しないと各鉄骨・鉄筋間で電位差が生じて、建物内の電気設備に障害を与えることがあります。こうした電位差を防止する有効な対策として等電位化、安全絶縁の確保、そして雷電流が建物内を通らないように絶縁電線を布設する方法があります。

外部避雷対策は、主に直撃雷による火災の発生や外壁の損壊、絶縁破壊等の被害に有効ですが、周辺の人的被害を軽減する効果もあるでしょう。

(2) 内部避雷対策（誘導雷対策）

雷電流は電源線、電話線、学内LANのネットワークなどから機器へと侵入します。適切な対策を施していないと機器が破損する場合があります。主な対策はアレスタ（避雷器）とサージシールドの設置です。

(3) 襲雷予測と避難（人的被害対策）

<新聞等報道記事の紹介>

- 20.10.22 ○大学が公的医療保険適用外の治療費を寄付金として受け取っていたのは混合診療の疑いがあるとして厚生局が調査を開始。
- 20.10.22 会計検査院は6大学1機構に対し、通勤手当を6か月定期に基づき支給するよう改善を求める。
- 21. 2. 6 ○大学等を運営する学校法人が税務調査で8千万円の源泉徴収漏れを指摘されていたと報道。高額の出張経費が給与とみなされた。
- 21. 3. 1 NHKアンケート調査に回答した国立大の91%71校、私大の89%62校が金融取引により資産運用。国立では損失ないが運用私大の55%34校で損失。
- 21. 5.15 財政制度等審議会が国立大学法人の中期目標の実績評価について、客観性に欠けるとして見直しを求めることで一致。また、財務省は国立大学法人の積立金3,000億円について「埋蔵金」があると指摘。
- 21. 7.22 文科省への提出書類に虚偽の経歴記載が発覚したため、5女子大が共同で開設を目指していた共同教職大学院の



2012/10月

大学リスクマネジメント News PickUp

<大学の管理・経営>

- ◆10. 4 研究費の不正経理問題を巡り、会計検査院が国立・私立の計65大学を抽出調査した結果、物品納入で不適切な対応をしていた大学は計49にのぼり、検査院は文科省に指導の強化を要請。
- ◆10. 6 ○大系財団が、同大附属病院内の自販機運営を随意契約で請け負い、手数料収入で2年間に1億円以上の利益を得ていることが会計検査院の調査で判明。検査院は「大学に収入が入るよう見直すべき」と指摘。
- ◆10.19 ○大の新築建物で働いていた女性が、シックハウス症候群を発症したとして損害賠償を求めた訴訟の控訴審で、高裁は1審判決を変更、「職員の安全配慮を怠った」として大学側に約445万円の賠償を命じる判決。
- ◆10.26 総合科学技術会議は、共同提案者だった○大元教授が収賄罪で起訴されたのを受け、最先端研究プロジェクトから、同大を除外することを決定。

<入試等ミス>

- ◆10. 3 ○大は、前期日程の入試で採点方法に誤りが見つかり、合格発表前の合否判定をやり直していたことが報道。誤った採点方法は06年度から続いており、過去に合格者を不合格者にした可能性も。
- ◆10.13 ○大は、9月に実施したAO入試の第1次選抜の数学の試験で、受験生の1人に、正解解答例が記載された用紙が挟み込まれた「試験本部用」の問題冊子を配るミスがあったと発表。

<事件・事故>

- ◆10.10 ○大の事務局に、爆破を予告するファックスが届いていたことが報道。不審物は見つからず。
- ◆10.18 日本脳炎予防接種の5分後に、小5男児がアナフィラキシーショックで死亡。
- ◆10.23 ○大のキャンパス内で、「大学に爆弾を仕掛けた」と書かれた文書が見つかり、大学は休校措置。
- ◆10.25 ○大生が、テニスサークルの懇親会で酒を飲んだ翌日に急性アルコール中毒で死亡していたことが報道。同サークルは、解散処分。

<情報漏えい>

- ◆10. 4 国際的なハッカー集団が、国内5大学を含む世界の100の有名大学から12万件の情報を盗みだしたと声明。個人情報や研究リストなどが流出。
- ◆10. 7 ○大の副学長が、成績を記録したUSBメモリーが入ったかばんをひったかれる被害。
- ◆10.11 ○大は、同大学の教員が管理するWebサーバーの設定ミスによって個人情報を含む学生238名分のレポートが誤ってWeb上に公開されていたことが判明したと発表。
- ◆10.24 ○大のサイトが改ざんされ、1127件の個人情報が流出した可能性があるとして発表。

<ハラスメント>

- ◆10. 3 ○大は、パワハラと不正購入の疑いで医学部教授を調査
- ◆10.10 ○大は、アカハラで教授2人を停職処分にしたと発表。
- ◆10.12 ○大は、教え子の男子学生から実験費名目で、支払う必要のない計34万円を徴収したなどのアカハラを行ったとして、男性准教授を出勤停止14日間の懲戒処分にしたと発表。
- ◆10.13 ○大は、男性准教授がアカハラをしたとして14日間の出勤停止処分にしたと発表。

<学生・教員の不祥事>

- ◆10. 3 ○大の学生が、電車内で女子高生の下半身を触ったとして現行犯逮捕。
- ◆10. 7 ○大馬術部で、上級生から下級生へ暴力や金銭トラブルが相次ぎ、大学が同部を9月から1か月の公式試合出場停止処分としていた問題で、7日、関東学生馬術協会は同部へ当面活動を自粛するよう勧告。
- ◆10.13 ○大の教授が、自ら理事長を務める学会の冊子に掲載した論文に、別の学者の文章を転用。教授は大学側に事実関係を認め、学会の理事長を辞任する意向を示唆。
- ◆10.15 ○大医学部教授が、のぞき目的でアパートに侵入したとして逮捕。
- ◆10.19 ○大は、出張先で女性のスカートの中を盗撮したとして逮捕された准教授を、諭旨解雇処分にしたと発表。
- ◆10.19 ○大の学生が、同級生のかばんから財布を盗んだとして逮捕。同大生の逮捕者は今年度4人目。
- ◆10.25 ○大は、道交法違反(酒気帯び運転)容疑で逮捕された医師を停職6か月の懲戒処分にしたと発表。

配信について

本誌は、各国立大学・大学共同利用機関の国大協保険ご担当者、国大協連絡登録先、ご登録いただいた方にメールで配信させていただきます。(無料) 配信登録、解除は弊社ホームページからお願いします。⇒ <http://www.janu-s.co.jp/>

情報提供のお願い

各大学等でのリスクマネジメントに関する取組み、事故・事件への対応のご経験、ご感想、ご要望等をお寄せください。
⇒ info@janu-s.co.jp

バックナンバー

- 12.10月 ◆被害者対応、メディア対応
 - 12. 9月 ◆帰宅困難学生等への対応
 - 12. 8月 ◆学生の犯罪等の被害
 - 12. 7月 ◆熱中症、食中毒と保険適用
 - 12. 6月 ◆水濡れ事故と保険適用
 - 12. 5月 ◆竜巻被害と保険適用
 - 12. 4月 ◆国大協保険FAQ
 - 12. 3月 ◆通学途中の事故
 - 12. 2月 ◆学生の起こした事件(不祥事)
- ※弊社ホームページからダウンロードできます。

発行 有限会社 国大協サービス

協力 株式会社インターリスク総研

東京都千代田区神田錦町3-23

三井住友海上火災保険株式会社